

## 2024年12月8日(日)MJG わくわく体験会 Q&A ※2024年度実績

※下にスクロールしていただくと、これまでいただいた質問もご覧いただくことができますが、年度により更新されていく内容も含まれています。特に入試については、今後の説明会・個別相談会などにご参加ください。

●鍵盤ハーモニカに指定はありますか？

⇒特に指定(メーカー)はございませんが、32鍵あるものでお願いしております。

●早生まれの考慮はありますか？

⇒願書を提出いただく際に、生年月日を記入していただいております。試験官(教職員)で願書内容を共有して試験を行っております。(ペーパーテストによる考慮はありませんが、口頭試問やグループ活動、運動など、表現や運動能力については考慮しております。)

●箕面自由学園中学校を希望していて、進学できなかったことはありますか？

⇒低学年より、学習習慣と基礎学力を定着させるように授業を展開しています。小学校での授業に加え、宿題などを着実に行うことで、併設中学進学への学力が身に着きます。また、各学年で行っている校外模試の結果により、志望校を参考にさせていただける機会を設けています。6年生の2学期の懇談時に併設中学校を希望している児童は、全員合格しております。

※小学校での授業で、志望校の受験対策を行うことはありません。

## 2024年10月24日(木)入試速報会・授業体験会 Q&A ※2024年度実績

### ●スクールバスの便数やルートについて

⇒往路・復路ともに2台(彩都⇒北千里方面・千里中央方面)出ております。下校時は、16時に全学年が乗車します。低学年が5時間授業の場合は、わくわく HOME(学童保育)の部屋で待機し、出発まで宿題などを行う時間になっています。

※待ち時間、わくわく HOME の利用料金は、かかりません。

### ●児童の通学圏内について

⇒児童の通学範囲については、個人情報の兼ね合いもありますので、体験会や説明会での個別相談時、対応させていただきます。

### ●中学校の進学先について

⇒学年により様々ですが、進学コース・発展コース問わず、内部進学をしている児童が増えています。外部中学への進学については、高槻・神戸女学院・四天王寺・大阪桐蔭・金蘭千里などが近年の進学先となります。

(中学校・高等学校へ内部進学した卒業生は、大学受験で国公立大学・難関私立大学に合格して、自分の夢に向かって努力してくれています。)

### ●4年次のコース選択は、人数に偏りがある場合は、学力テストによって分けるのですか？

⇒本校は、1年生から外部テストを取り入れ、定期的に学力定着度を確認しています。3年次に、希望調査を行い、コースに関係なく、外部テストの結果と面談を行い、決定しています。

### ●入試のグループ活動でのグループ構成について

⇒男女の比率、同幼稚園が偏らないように構成しています。

## 2024年7月20日(土)入試説明会・体験会 Q&A ※2024年度実績

### ●入試当日のお子様の服装について

⇒適性検査の日は、運動がありますので、動きやすい服装でお越しください。(幼稚園で使用している体操服でも結構です)※女の子につきましては、スカートはご遠慮ください。

### ●WEB出願と面接当日に持参する志願理由書は、同じ内容でも良いでしょうか

⇒もちろん大丈夫です。出願から面接まで約1カ月ありますので、変更いただいても結構です。

### ●面接日の変更について

⇒出願時に確定した日程は、変更いただくことが難しくなりますので、十分に日程を調整いただいた上で出願してください。(病気などでやむを得ない場合を除く:事前に必ず連絡をしてください)

### ●入試当日の待機場所と退出の可否について

⇒入試当日は、先日の説明会の会場を予定しておりますが、人数によっては別会場となる場合があります。また、お子様の試験中は、退出いただいても結構です。その際、お子様に何かあった場合、連絡が付く電話番号を記載いただくことにしております。また、試験終了の30分前には、戻ってきていただくようお願いしております。

### ●入試当日の持ち物について

⇒募集要項に記載している通りとなります。カバンに持ち物を入れていただいた方が、他の受験者のものと間違わないと思います。

※受験票・上靴・水筒・ハンカチ・縄跳び

### ●合格者数について

⇒本校の募集定員は50名となっています。合格者には、併願者(本校を第2希望とされている方)も含まれておりますので、50名以上の合格が出ます。基本的には、合格基準を超えていただくこととなります。

※合格基準につきましては、今年度の受験生の点数によって、若干異なる場合があります。

### ●2クラスの学年が増えた場合、教室と教員は足りるのでしょうか

⇒現在選択教室にしている教室が複数ありますので、大丈夫です。教員につきましても、ご心配いただく必要はございません。

### ●小学校での活動を見学できる機会があればよかった。

⇒今回、初めて来校された方につきましては、7月31日(火)・8月1日(木)・8月3日(土)に個別相談を設けています。今年度入試に向けた授業見学などのイベントは、2回実施(昨年10月、今年5月)しております。現年中保護者様につきましては、来年度も2回行う予定です。日程が近づきましたら、HPなどでお知らせいたします。

※体験入学(お子様が体験できるもの)は、11月以降複数回実施予定です。

### ●下校バス(路線バス)について

⇒阪急バスご利用の場合、下校には引率教員が付きますが、アフタースクールなどをご利用いただいた場合には、お

迎えもしくは、教員の引率なしで、バス停へ行くこととなります。

●ランドセルについて

⇒本校のランドセルは制定品となっています。

●中高での目的意識を持たせる活動は、どのようなことをしていますか？

⇒校外での体験活動や社会見学に加え、デザインタイム(高等学校ホームページ「デジタルパンフレット」参照)で、キャリア教育の一環として企業の方からのお話をきくなど、自分の進路について考える機会をたくさん設けています。

●大学卒業後の進路について

⇒大学選択時に自分が描いた夢を実現している子も、大学で新たな夢を持つ子もいます。個によって職業は様々ですが、高等学校までの経験が活かされていると多くの子たちから聞くことができます。

●小学校で塾へ行く必要がありますか？(「高校では予備校の必要がないように授業の質を上げる。)」という話があったため…)

⇒ご家庭の判断にお任せしております。進学コースでは(特に算数)、塾と同様の進度・内容を行っています。ただし、志望校に向けた個別指導は行っておりません。

## 2024年6月15日(土)MJG わくわく体験会 Q&A ※2024年度実績

●下校途中、制服のままの習い事や通塾は許可されていますか？

⇒結構です。

●子ども用の携帯電話・GPSなどの持ち込みは、許可されていますか？

⇒入学前、年度初めに『携帯電話所持届』を提出していただくことになっています。

●併設幼稚園児の方が受験に優遇されますか？

⇒基本、受験内容・基準は同じです。併設幼稚園については、「毎日通園している学園環境」や「知っている先生が試験監督にいる」というところが、違いではないでしょうか。

●受験した場合、専願・併願での合格率に違いはありますか？

⇒合格基準として違いはありませんが、本校としては『専願(第一希望)』でご受験いただきたいと思っています。

●願書に添付する写真ですが、「データ用」と「紙面に貼り付け用」の2点でしょうか？

⇒WEBでの出願ですので、写真サイズは、画面上でトリミングができます。(どのサイズでも対応可能です。)印刷後、貼り付ける場合は、縦4センチ×横3センチをご準備ください。 ※データ用のみでも結構です。

●WEB出願時の志願理由の文字数は、何文字ですか？

⇒300文字となっています。

## 2024年6月5日(水)学校説明会・授業見学会 Q&A ※2024年度実績

●英語の授業以外で、英語に触れる機会は、どの程度ありますでしょうか。

⇒1～3年生は、週3時間の英語に加え、朝の時間(Practice Time)に2回 英語に触れる機会があります。  
休み時間にはネイティブと会話をしに来る子もいます。

●バスルートに新規バス停はできますか？

⇒現在、スクールバスは、『彩都西駅』『北千里駅』『千里中央駅』の3方面へ運行しております。今のところ、それ以外のバス停設置の予定はありません。

●千里中央のバス停の時間が知りたい

⇒HP へ掲載するため、不特定多数の方が閲覧することになりますので、安全管理上、時間の掲載は控えさせていただきます。次回の説明会・体験会時に教職員へ訪ねていただければ幸いです。

●アフタースクールの『進学発展演習』について、内容と費用を教えてください。

⇒ご家庭により、お考えは様々ですが、カリキュラムなどは、他の進学塾と同様になっています。(個別塾ではありません)

料金については、他塾さんも HP をご覧いただくことが可能になるため、掲載を控えさせていただきます。次回の説明会、体験会時に教職員へ訪ねてください。

## 2024年5月23日(木)学校説明会・授業見学会 Q&A ※2024年度実績

●アフタースクールについての詳細が知りたい

⇒次回以降の説明会でお話しさせていただきます。

●わくわく HOME の下校班は、17時30分に学校を出発ですか？

⇒阪急バス『春日町4丁目』は17時00分、阪急電車『桜井駅』、阪急バス『南桜井』の下校班は17時30分に学校を出発します。

●教室数が多く、階段も多くて迷子になりそうですね。

⇒慣れます(笑)児童たちは、アップダウンで脚力がついていきます(笑)50m6秒台の子もいます。

●試験の持参物『縄跳び』へ記名は必要ですか？

⇒他の受験者と間違えないように記名いただけますと助かります。

●合格後、入学まではどのようなスケジュールになりますか？

⇒2月初旬～中旬に入学者説明会(物品購入手続き)を行い、3月に物品引き取りで来校いただきます。

●進路を決める過程で、どんな職集があるか知る機会がありますか？学部選択へのつながりを理解させる機会がありますか？

⇒小学校でのコース選択(4年生以降)についてのみ、お伝えしますと、3年生の2学期にコースの特徴を子どもたちと保護者様へお話しする機会を設けています。その後、学力定着度・面談等を経てコース決定を行っています。

●学年末に特別入試を行った意図はなんですか？

⇒募集定員50名として、A日程の合格者の入学手続き状況により、若干名の枠があれば、1月もしくは2月に特別入試を行っています。

●入学後、通塾している児童の割合は多いですか？

⇒学校外のことですので、把握することは難しいのですが、高学年になると、校内塾『進学発展演習』を含み、希望校に特化した塾へ行かれている割合は高くなっているように感じます。

●中学の理数探究Sへは、進学コース(小学6年生)の成績でふるいにかけられますか？

⇒併設中学への内部進学制度(推薦制度)はありません。中学入試の結果によりコースが決定されます。

## 2024年3月23日(土)MJG わくわく探検隊 Q&A ※2023年度実績

※下にスクロールしていただくと、これまでいただいた質問もご覧いただくことができますが、年度により更新されていく内容も含まれています。特に入試については、今後の説明会・個別相談会などにご参加ください。

●放課後の進学発展演習は、校外の塾とどのような点が違うのでしょうか？メリットは何ですか？参加した方がよいでしょうか。

⇒進学コース担当教員を中心に塾講師が放課後の進学発展演習を受け持っています。大手進学塾とは違い、個々の能力によりレベル【〇〇(難関校)コースやクラス分け】は行っていません。一斉授業を行い、個々を丁寧に指導しています。大きな利点をお伝えすると、生活のリズムが整うことです。放課後すぐに演習が始まるため、移動時間が短縮された分、家庭での時間が確保できます。

参加は、ご家庭にお任せしております。家庭学習で補うお子様もいれば、校外の進学塾へ通われる方もいます。

※課外講座となりますので、受講料が別途必要です。

●実際に児童たちの英語の発音を聞きたいです。

⇒5月23日(木)の学校説明会・授業見学会で、英語の授業もご覧いただけます。イマージョン教育など、英語に特化した学校ではございませんので、個々により発音レベルの差はあるかと思いますが、みんな一生懸命頑張っています。

●長期休みにスクールバスを利用することは可能でしょうか？

⇒長期休み(春・夏・冬)は、スクールバスは利用できません。

●来年度のクラス編成について

⇒受験者人数でクラス数を決めておらず、本校が定める合格基準をクリアした人数で判断しております。例年

基準を大幅に変更しておりませんので、2024年度入学するご家庭が、本校入学に向けて準備された結果だと感じています。2クラスでも、クラス間で差(行っている内容が違うなど)が出ないように、足並みは揃えます。

※合格者数により、1クラスになる可能性もあります。3クラス以上になることはありません。

●入試イベントについて、可能な限り、開催日の決定は1か月以上前にお知らせいただくと、仕事の調整が可能です。よろしくお願いします。

⇒基本的には、1か月前にHPや体験会でご案内するようにはしておりますが、LINEなどSNSへも掲載するようにしますので、そちらもご利用ください。いつも、ご参加ありがとうございます。

以下、来年度の入試行事についてです。

●小中高と連携した12年間という中で、中高の教育の中身が小学校におりてくるなど、連携を活かした特徴はありますか？

⇒小中高の教員連携で、学齢に合った学びを共有化し、教育に取り入れることが大きいと感じています。ただし、一貫教育ではありませんので、必ずしも併設中学へ進学するとは限りません。ですが、体験活動を通した学びや国語力(読解力)、プレゼンテーション力は、今後必要な学びととらえておりますので、建学の精神のもと、豊かな心を育むことや一人一人にスポットがあたる教育、理算教育・英語教育・情報教育など、中学校以降の学びにつながるようカリキュラムを組んでいます。

※校種(中学校での学びを小学校で行うなど)を越えての、先取り学習は行っていません。

●理科の学びについて、理解度がここに違う場合、フォロー体制はありますか？

⇒理科の実験にフォロー体制はありません。低学年で『気づく力』『学ぶ楽しさ』を身につけるため、個人での理科工作を通して『自分の気付き』をワークシートにまとめ、それを教員がすべてチェックしています。中・高学年では、少人数のグループに分け、全員が実験できるような器具の確保と工夫・言葉がけを行い、平等な学びを提供しています。ただし、お子様ご本人の授業に向かう姿勢が整わなかった場合、理解度が変わってきます。そのようなにならないために、本校では入学試験時に合格基準を設けております。

●給食の体験があればありがたいです。

⇒給食体験は行っていません。アレルギーを持たれているお子様もおりますので、入学確定後、アレルギー面談をした上で、提供させていただきたいと思っています。

●給食に関して、詳しくお聞きしたいです。(献立など)

⇒説明会や体験会后、教員にお声かけいただくか、今後の相談会(校外も含む)に起こしてください。

●いじめや不登校など、トラブルが起こった時の対応などを知りたいです。

⇒基本的にはそのようにならないために、全教員で一人一人のお子様に向き合っています。万が一、いじめが起こった場合は、ホームページに記載しております『いじめ防止基本方針』に従って対応します。

●小⇒中⇒高の内部進学・進級の様子などを教えてください。

⇒卒業学年の人数にもよりますが、コース関係なく、年々併設中学校への進学率は上がっています。今年度は、

約半数の児童が進学しました。

小学校と中学校高等学校への進学は一貫校(無試験での進級)ではありませんので、外部から受験される方と同じ試験を受けていただきます。

●アフタースクールのレベル感や具体的な講座回数などを伺いたいです。

⇒英語道場:週1回、英会話:週1回、プログラミング:週1回、科学実験教室:隔週1回、そろばん:週1回  
チアリーディング:週1回、ミュージック:週1回、ヴァイオリン:週1回、コルネット:週1回、書道:週1回  
絵画教室:週1回

※ただし、上記には、外部講師が受け持つ講座も入っているため、年度により変更される場合があります。

レベル感について、学校とご家庭との視点の違いはあるかと思いますが、英語道場、プログラミング、そろばん、ヴァイオリンの講座については、レベルを分けて行っています。

※講座によっては、曜日が重なる場合もありますことを、ご理解ください。

●小学校⇒中学校の内部進学システム・進学率はどのくらいですか？

⇒小学校から中学校への進学率は、学年にもよりますが、30～40%の子どもたちが進学しています。近年、小学校でのコース(進学コース・発展コース)関係なく併設中学校へ進学する子どもたちが多くなってきました。

小学校から中学校への進学は、外部からの受験者と一緒にご受験いただきます。(内部保護者様への説明や、試験情報のご案内は、外部の方よりも早くお知らせしております。

※他校を受験した場合、併設中学校、高等学校を併願で受験することが可能となっています。

## 12月10日(日)MJG わくわく体験会 Q&A ※2023年度実績

### <学校生活・教育内容について>

●授業後、何時まで学校にすることができますか？

⇒【低学年】月・火・木曜日は、5時間授業で15時00分集団下校

水・金曜日は、6時間授業で15時35分集団下校となっています。

【高学年】すべて6時間授業で15時35分集団下校 ※完全下校は16時00分

全学年、上記時間以外には、アフタースクールやわくわくHOME(学童保育)をご利用いただけます。  
わくわくHOMEの終了時刻は19時00分です。

●アフタースクールのバイオリンは、小学校1年生から行うことができますか？

⇒1年生から受講可能です。曜日については、講師の予定によって年度ごとに変更される場合があります。

※下にスクロールしていただき、6月17日(土)MJG わくわく体験会 Q&A をご覧ください。

●バス運行表はありますか？

⇒2024年度の運行表は、今月中に出来上がりますので、次回の体験会・説明会でお伝えします。

【彩都⇒北千里⇒学校 便】 【千里中央⇒学校 便】 途中乗車は、阪急バスの停留所前後になります。

●普段、高等学校の生徒たちとの交流はあるのでしょうか？イベントだけでしょうか？

⇒学校生活で小学生と中高生が接する機会はたくさんあります。登校時間や休み時間以外にも、今年度から放課後のわくわく HOME に中高のボランティア生徒が毎日来て来てくれています。また、月に1回、お昼休みに小学校の廊下にて、吹奏楽部の生徒による MJG マンスリーコンサートで交流しています。さらに、運動会では吹奏楽部に入場曲を演奏してもらったり、チアリーディング部に演技してもらったりと、行事での交流も行っています。

交流は、中高だけではなく、幼稚園と小学校との交流も大切にしています。先日は、年中さんと4年生がクリスマス交流会を行いました。幼・小・中・高が同じ敷地にある利点を活かし、交流を持ち、子どもたちの豊かな心を育む教育を大切にしているのも本学園の特徴です。

### <入試について>

●次回の説明会の日程を教えてください。

⇒3月23日(土)AMIに行く『MJGわくわく体験会』で、保護者の皆様には教育内容についてご説明する予定です。

## <その他>

●幼稚園⇒小学校／小学校⇒中学校の内部進学率はどのくらいですか？

⇒幼稚園から小学校への進学率は、平均すると10%くらいです。小学校から中学校への進学率は、学年にもよりますが、30~40%の子どもたちが進学しています。近年、コース関係なく併設中学校へ進学する子どもたちが多くなってきました。

●小学校から中学校、中学校から高等学校に進学する場合、内部生も受験はあるのでしょうか？

⇒小学校から中学校への進学は、外部からの受験者と一緒にご受験いただきます。(内部保護者様への説明や、試験情報のご案内は、外部の方よりも早くお知らせしております。中学校から高等学校については、中高一貫校ですので、試験はございません。

※他校を受験した場合、併設中学校、高等学校を併願で受験することが可能となっています。

## 11月23日(木・祝)MJG わくわく体験会 Q&A ※2023年度実績

### <学校生活・教育内容について>

●子どもは実験が大好きなのですが、以前イベントで体験させていただいたようなスーパーボールロケットなどは、授業でも作れるのですか？

⇒もちろんです。既に在校生の授業で行っているものを、年齢に合わせて体験いただいています。1・2年生の在校生は、理科の授業が大好きです。

●中学校・高等学校の生徒との交流が多いように聞いていますが、どんな場面で交流が行われているのですか？わくわく HOME のみなののでしょうか？異年齢の交流は、すごく魅力に感じています。

⇒ありがとうございます。校長が小・中・高を兼務しておりますので、様々な場面で交流ができることを意識しています。わくわく HOME 以外では、小学校の廊下に設置しておりますストリートピアノを使って、併設高等学校吹奏楽部の生徒たちが演奏会を開いてくれています。学園の図書館では、高校生が小学生にしおりを作ってくれたり、

朝の時間や休み時間に高校生が小学生と一緒にグラウンドで遊んでくれたり(雲梯を教えてくれる生徒もいます)、また、小中高が一緒に行く『Spelling Bee』という英語イベントもあります。他にも、日常の学校生活で、顔を合わせたり、挨拶をしたりする場面は、たくさんあります。

●ホームページに楽しそうな体験活動がたくさん掲載されていますが、例年行われているものですか？

⇒行事・授業での活動については、毎年行っております。社会見学などのように企業様にお世話になる場合については、日程調整がつかず、時期が変更されたり実施できなかつたりする年もあります。

●夏休みなどのわくわく HOME は、何時から登校可能ですか？その際、スクールバスはないと聞きましたが、駅やバス停からの集団登校は、ありますか？

⇒長期休みのプログラムは、9時～19時としています。登校は、8時45分頃でお願いしております。駅・バス停からの集団登校は、行っておりませんので、坂下駐車場(40分無料)まで送っていただくことが可能です。

●課外活動は、今後変更されることはありますか？

⇒学外講師の先生のご都合もありますので、変更する可能性はあります。曜日が変更されたり、内容が変更されたりする場合があるかも知れませんが、子どもたちにとって『楽しく学べる』ものを考え、課外活動に導入しています。

## <入試について>

●入試のなわとびは、何跳びをしますか？

⇒基本、前跳びです。1跳躍でも2跳躍でも構いません。あきらめず決められた時間を跳び続けることを評価しています。今日のなわとび練習がきっかけになり、今後、楽しみながら取り組んでほしいと思っています。

## 10月26日(木)入試速報会・授業見学会 Q&A ※2023年度実績

## <教育方針について>

●今後、年度が変わった際(校長の変更、教職員の退職など)、現在の学校体制が変わることはありますか？

⇒建学の精神のもと、教育活動を行っているため、基本的な学校の考え方が変わることはありません。

## <学校生活・教育内容について>

●2024年度から2クラスになることで、学校生活や授業の進め方が変わることはありますか？

⇒子どもたちの学校生活が変わることはありません。私立学校は、不易と流行です。教育内容など、常に今の子どもたちにとって最善のものを考え、準備しています。

●理科の授業担当について

⇒本校には、理科を専門にしている教員が3名います。今日は、3名教室にいましたが、普段は、1～2名で行っています。

●英語力の維持はできますか？

⇒1～3年生については、習熟度別の授業展開をしていますが、4年生からはコース制になるため授業時数がコースによって異なります。進学コースに進んだ場合、理科・算数の時間数が多くなる分、個人差が出てくると思います。

●英語力を維持するために、外部の英語教室などを利用している子はいますか？

⇒ご家庭の判断となります。出身園(インターナショナルスクール)の小学生部門を利用している子も多数います。

●4年生からのコース制で別々の授業となるため、クラスの時間はないのでしょうか？

⇒国語・算数の全時間、理科・英語の一部の時間は、別々の授業となりますが、学級活動を含むその他の時間は、コースに関係なくクラスで受ける授業となります。

●通学について

⇒集団登校とはしていませんが、(電車通学の場合)本校の児童が多く乗っている時間帯をお伝えしています。最寄

り駅の桜井からは、高学年班長・副班長となり、集団で登校しています。下校については、桜井駅・阪急『春日町4丁目』まで、教員引率のもと、集団下校しています。

●わくわく HOME 利用後の下校について

⇒春日町4丁目(阪急バス)方面17時、桜井駅方面(阪急電車)17時30分に教員引率のもと、集団下校しています。それ以降は、お迎えとなります。本校の学園駐車場は、40分無料となっています。  
※17時、17時30分の集団下校を利用せず、お迎えのご家庭もあります。

●夏休みもわくわく HOME はありますか？

⇒お盆を含む約10日間・土日を除き、開講しています。午前のみ・午後のみなどを選択してもよいように設定しています。  
※活動内容によっては、定員設定を設けているものもあります。

●バスの運行時間について

⇒次年度、バスを増便予定にしています。現在、彩都西駅(モノレール)【7時20分発】、北千里駅【7時25分発】、千里中央駅【7時35分発】となっています。そのほかの停車場所は、基本的に阪急バスの停留所になっています。

●iPad の使用について

⇒1年生から貸与しています。本校は、情報の授業が毎週1時間あります。低学年は、iPad の使い方、タイピング練習や調べ学習に使用しています。中学年・高学年は、iPad に加え、専用機器を使用して本格的なプログラミングを学習しています。6年生は、学校の魅力をテーマにホームページを作成しています(2023年度実績)

## <入試について>

●次年度も2クラス体制ですか？

⇒合格基準に達する受験者が多数いらっしゃった場合は、2クラスとなります。

●受験者(本人)がとても消極的で、入試対応ができるか心配ですが、どうしたらいいですか？

⇒11月・12月・2月の体験会は、保護者の方と一緒に参加しますが、3月～のイベントは、別々(お子様だけの体験)になりますので、少しずつ学校になれる機会にさせていただきたいです。

●入試の男女比は調整していますか？

⇒調整していません。あくまで合格基準をベースに判定しております。

## <その他>

●2クラスの学年が増えてきたときに、教室数やトイレはどうなりますか？

⇒本日、理科の授業を行っていた別館も、小学校の施設ですので、教室数、トイレなど、十分にございます。

●本日の校長挨拶の PPT 資料はいただけますか？

⇒配信する予定はありませんので、次回の説明会で、お配りいたします。

●進学実績等を知りたかったです。

⇒次回の学校説明会時にお話しいたします。

●中学校高等学校の授業参観について

⇒次回の授業見学会は、5月を予定しております。その際に、お声かけいただけますと、ご案内いたします。

●併設中学校に進学するのはどのくらいの割合ですか？

⇒学年によって様々ですが、近年併設中学校を受験する児童が増えております。(外部と同様の入試を受験)

●年少さん向けのイベントがあるといいのですが…

⇒説明会には、ご参加いただけますが、体験会については、参加人数の関係上、年中園児からとなります。  
体験会は、次年度の11月頃からご参加いただけるものを準備します。

●高学年の人数が少ないのはなぜですか？

⇒志願者数が少なかった上、合格基準を設けて合否判定をしていました。年々出願者・受験者数が多くなるとともに、合格基準を上回る受験者が増加したため、次年度は2クラス運営となりました。

●給食は、どこで作られていますか？

⇒本校の管理栄養士のもと、自校炊飯となっています。(中学校高等学校の食堂)

●理科室は中学生も利用していますか？

⇒小学校の理科室ですので、中学校は利用していません。